

指定管理者制度活用事業 総括評価シート

評価年月日：平成30年7月10日

評価者：指定管理者選定評価委員会
高齢者施設部会（第2）

1. 業務概要

施設名	かわさき老人福祉・地域交流センター
指定期間	平成26年4月1日 ～ 平成31年3月31日
業務の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・老人福祉センターの業務 利用証の発行、教養講座・レクリエーション等の実施及び場の提供、健康相談・生活相談事業、入浴事業 ・施設等の維持管理に関する業務
指定管理者	名称：社会福祉法人 川崎市川崎区社会福祉協議会 代表者：会長 大橋 新太郎 住所：川崎区日進町1-11 川崎ルフロン8階 電話：044-246-5500
所管課	健康福祉局長寿社会部高齢者在宅サービス課（内線：32512）

2. 「評価の視点」に基づく事業期間全体の評価

No.	評価項目	事業実施状況等
1	市民や利用者に必要な量及び質のサービスを提供できたか。	<p>高齢者に対する健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与するという老人福祉センターの目的を踏まえ、利用者満足度調査や意見箱の設置などにより利用者ニーズの把握を行い、施設の管理・運営に反映させた。</p> <p>また、利用者の平等な利用のためのルール改善や講座・行事の積極的な実施、備品の整備等の環境改善にも取り組み、十分なサービスの提供に努めた。</p>
2	当初の事業目的を達成することができたか。	<p>教養講座や行事の実施にあたっては、指定管理者応募時に事業計画書を提出し、それに基づきサービスの提供を行った。</p> <p>講座は利用者の心身の健康の維持・増進を図るとともに、外出する機会等を提供し、講座を通じて健康でいきいきとした生活に寄与することを基本方針とした。行事については利用者の健康増進や相互交流、地域交流を基本的な考え方として実施した。</p> <p>いずれも指定管理者の創意工夫及び地域からの要望等を取り入れ、多くの参加者があり、利用者満足度調査においても高い満足度が得られるなど、適切なサービスを提供した。</p> <p>また、地域交流センターの利用状況については当初の計画には達しなかったが、施設概要・事業内容やイベント情報をホームページ等で発信し、利用者確保に努めた。</p>
3	特に安全・安心の面で問題はなかったか。	<p>利用者の入館時や職員の館内巡回時における利用者とのコミュニケーション等を通じ、心身の状況が日常と変わらないか確認し、利用者の健康管理に配慮した。</p> <p>また、安全管理の一環として、災害時における利用者の安全確保を目的に作成した消防計画等に基づき、建物内の他の事業所と合同で消防訓練を行うなどの取組を行った。</p> <p>なお、施設の管理運営に関しては、毎年度事業報告書を提出させ、当該報告書の内容について評価を実施することで、安全・安心の面で問題がないことを確認した。</p>
4	更なるサービス向上のために、どのような課題や改善策があるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・今後とも、高齢者の心身に配慮しながら、魅力ある講座の企画等により利用者を増やすなどして、一層のサービス向上に努めること。 ・入浴利用者の健康状態の把握について、利用中又は利用後の急な体調変化等が想定されることから、引き続き積極的な声掛けを行い、より早期に把握できるよう努めること。 ・利用者が意見・要望を言いやすい環境をつくり、利用者ニーズを把握し、事業へ反映するよう努めること。 ・地域交流センターの貸室業務について、貸室の稼働率が低いことから、稼働率向上のための取組をより一層強化し、利用者の確保に努めること。

3. これまでの事業に対する検証

	検証項目	検証結果																																																																											
1	所管課による適切なマネジメントは行われたか。	指定管理者と適宜連絡を取り合い、履行状況の確認及び報告を受けており、定期的に会議を開催し、運営上の課題等について、検討を図っている。また、毎年度終了後に、事業報告書の提出を受け、その際に、実地調査又はヒアリングを行い、適切な事業評価を行っている。																																																																											
2	制度活用による効果はあったか。	<p>★老人福祉センター関連 (サービス向上)</p> <p>利用者数は若干、減少傾向ではあるが、利用者ニーズを反映した事業実施や関係機関と連携した高齢者への細やかな配慮など、市民に対して安定したサービス提供が図られているものと考える。</p> <p>(経費の節減)</p> <p>指定期間全体をとおして、収支がマイナスとなっていないこと。また、決算額について、他の施設の実績を考慮すると妥当であるものと考える。</p> <p>利用者数及び入浴者数</p> <table border="1" data-bbox="472 676 1423 824"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>49,752人</td> <td>52,091人</td> <td>47,836人</td> <td>41,912人</td> </tr> <tr> <td>入浴者数</td> <td>14,048人</td> <td>14,963人</td> <td>13,108人</td> <td>10,747人</td> </tr> </tbody> </table> <p>教養講座</p> <table border="1" data-bbox="472 878 1423 1025"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数</td> <td>264回</td> <td>288回</td> <td>306回</td> <td>247回</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>7,092人</td> <td>7,146人</td> <td>6,916人</td> <td>5,630人</td> </tr> </tbody> </table> <p>行事</p> <table border="1" data-bbox="472 1079 1423 1227"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数</td> <td>13回</td> <td>9回</td> <td>10回</td> <td>31回</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>1,398人</td> <td>1,700人</td> <td>1,847人</td> <td>1,616人</td> </tr> </tbody> </table> <p>地域交流センター利用者数</p> <table border="1" data-bbox="472 1281 1423 1370"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>2,637人</td> <td>8,499人</td> <td>7,186人</td> <td>4,134人</td> </tr> </tbody> </table> <p>経費(単位:円)</p> <table border="1" data-bbox="472 1424 1423 1630"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td>52,243,327 (221,250)</td> <td>53,056,472 (533,950)</td> <td>53,546,738 (556,620)</td> <td>53,481,483 (1,421,861)</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>46,296,988</td> <td>45,857,657</td> <td>48,026,341</td> <td>52,261,030</td> </tr> <tr> <td>差引額</td> <td>5,946,339</td> <td>7,198,815</td> <td>5,520,397</td> <td>1,220,453</td> </tr> </tbody> </table> <p>※収入欄の()内の数字は、地域交流センターの利用料収入</p>		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	利用者数	49,752人	52,091人	47,836人	41,912人	入浴者数	14,048人	14,963人	13,108人	10,747人		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実施回数	264回	288回	306回	247回	参加者数	7,092人	7,146人	6,916人	5,630人		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実施回数	13回	9回	10回	31回	参加者数	1,398人	1,700人	1,847人	1,616人		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	利用者数	2,637人	8,499人	7,186人	4,134人		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	収入	52,243,327 (221,250)	53,056,472 (533,950)	53,546,738 (556,620)	53,481,483 (1,421,861)	決算額	46,296,988	45,857,657	48,026,341	52,261,030	差引額	5,946,339	7,198,815	5,520,397	1,220,453
	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度																																																																									
利用者数	49,752人	52,091人	47,836人	41,912人																																																																									
入浴者数	14,048人	14,963人	13,108人	10,747人																																																																									
	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度																																																																									
実施回数	264回	288回	306回	247回																																																																									
参加者数	7,092人	7,146人	6,916人	5,630人																																																																									
	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度																																																																									
実施回数	13回	9回	10回	31回																																																																									
参加者数	1,398人	1,700人	1,847人	1,616人																																																																									
	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度																																																																									
利用者数	2,637人	8,499人	7,186人	4,134人																																																																									
	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度																																																																									
収入	52,243,327 (221,250)	53,056,472 (533,950)	53,546,738 (556,620)	53,481,483 (1,421,861)																																																																									
決算額	46,296,988	45,857,657	48,026,341	52,261,030																																																																									
差引額	5,946,339	7,198,815	5,520,397	1,220,453																																																																									
3	当該事業について、業務範囲・実施方法、経費等で見直すべき点はないか	<p>市民に対して比較的安定したサービスを提供したと言える。収支については大きな変動はないが、利用者数は若干の減少傾向が見られるため、引き続き利用者のニーズ等を踏まえた施設運営が求められる。</p> <p>また、地域交流センターの利用者数は、平成27年度をピークに減少傾向であり、平成29年度については大きく減少した。現在もホームページ等で施設概要・事業内容、イベント情報などを発信しているが、より一層、知名度を高める取組を行い、利用者の増加に努める必要がある。</p>																																																																											
4	指定管理者制度以外の制度を活用する余地はないか	<p>本市においては、これまでの行財政改革プランの中で、「民間でできることは民間で」という原則のもと、公の施設への指定管理制度の導入を積極的に実施してきた。</p> <p>また、当該施設の老人福祉センターに係わる運営業務についてはサービスの質と量の提供が概ね維持されており、市民に対して安定したサービス提供が図られていること、また、これまでの実績において、法及び制度趣旨、財産管理等において問題がないことを勘案すると、指定管理制度を引き続き活用することが妥当であるものと考えられる。</p>																																																																											

4. 今後の事業運営方針について

当該施設は、旧日進町老人福祉センターの再編整備に伴い、地域交流センター機能を併設し、平成26年度から指定管理者による管理・運営を行っている。これまで、利用者ニーズの把握や経費縮減に取り組むなど、適正・適切な運営を通じて、市民サービスの向上を図ることができた。

今後、老人福祉センターは、地域の高齢者のふれあいや生きがいの場としての機能に加え、地域包括ケアシステムの構築の中で、より一層地域に根ざした施設として地域交流の推進や介護予防に資する取組を担っていく施設である。また、地域交流センターについても、こどもから高齢者まで広く世代間を含めた市民相互の交流の場を提供し、指定管理者の創意工夫により、より一層市民の福祉向上に寄与する必要がある。このようなことから、両施設については指定管理者の創意工夫により更なるサービスの向上が求められることから、引き続き、指定管理期間を5年間とし、指定管理者制度による管理運営が望ましいと考える。